

7月臨時会の概要

7月27日に開いた臨時会では、新型コロナウイルス感染症対策費や、6月、7月の豪雨により被災した道路等の災害復旧費などに係る第107号議案「令和2年度長崎市一般会計補正予算（第9号）」が提案され、各常任委員会で審査を行い、内容検討の結果、異議なく原案を可決し、本会議においても、全会一致で可決しました。また、固定資産評価審査委員会の補欠の委員の選任として、宮崎洋平氏を承認しました。

9月定例会の概要

令和2年9月定例会を、次のとおり、9月1日から11日まで開催しました。なお、新型コロナウイルスの感染防止のため会期の短縮などを行いました。

本会議	1日（議案上程） 3日・4日
常任委員会	※台風接近のため、7日の日程は繰り上げました。 4日（追加議案上程） 9日（委員長報告等） 10日・11日（市政一般質問等）
本会議	10日・11日（市政一般質問等）

議決結果（詳細はP7、8）

市長提出議案 原案可決40件、

人事案件同意2件、

専決処分報告1件

議員提出議案 可決1件

新型コロナウイルス感染症対策として様々な事業が展開されています

子育て応援特別給付金が支給されます

◆概要

妊産婦とその子育てを応援するため、国の特別定額給付金の対象とならなかった、令和2年4月28日以降に生まれた子どもに1人当たり10万円を給付する補正予算案が提案され、可決しました。12月からの給付を予定しています。

市立小中学校の子どもたちへのノート型パソコン整備が前倒しされます

◆整備目的と整備に向けた動き

国が推進するGIGAスクール構想は、小中学生へ1人1台のタッチパネル式ノート型パソコンと、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、多様な子どもたちの資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境を実現しようとするものです。長崎市においても、この構想に基づき、令和5年度までに段階的に、1人1台のノート型パソコンの整備を行うこととしていました。

超高速インターネット環境も整備されます

◆概要

採算性の問題で光回線による超高速インターネット環境が未整備の地区（外海、式見、高島地区）や、一部未整備の地区（琴海、茂木、福田、三和、野母崎、土井首地区など）において、電気通信事業者による整備を財政支援することにより、市内全域で超高速インターネットを利用できるようにするための補正予算案が提案されました。総務委員会では、実際に生活する住民に対して利点などがしっかりと伝わる周知広報を行ってほしいとの要望を付した賛成意見が出され、本会議での採決の結果、原案を可決しました。

そのような中、新型コロナウイルス感染症の拡大により、国において、学校の臨時休業等の緊急時でも、ICTの活用により子どもたちの学びを保障できる環境の早期実現のため、GIGAスクール構想を加速する考え方が示されました。国の方針を受け、長崎市においては、早期整備を実現するため、令和2年6月定例会で、まずは小学校4年生から中学校3年生への端末整備及び校内ネットワーク環境整備のための補正予算案を提案し、可決されました。9月定例会では、ノート型パソコンを取得するための議案や、さらに整備を前倒しするため、小学校1年生から3年生に端末を整備するための補正予算案が提案され、可決しました。1月頃から順次端末が整備される予定で、各教科で端末を活用することで子どもたちが教科の学びを深め、分析力、考察力、表現力、発信力などを高めることが期待されています。



▲タッチパネル式ノート型パソコンのイメージ

これにより、令和4年3月末までに整備が完了する見込みで、動画等の教育コンテンツをデータ容量に関係なく安定的に活用できるようになり、在宅学習やリモートワークを行うための基盤が整うことで利便性が向上し、移住促進の効果も期待されています。

